

# 災 害 医 療

科目責任者 和 氣 晃 司 (救急医学)

## I. 前 文

昨今、熊本地震のような大規模災害や全国各地で発生する豪雨災害に代表される局地災害が多発している。災害における被災者や傷病者への対応方針を、座学と実習・シミュレーションを通して学んでいただく。

## II. 受入可能人数

人数制限なし

## III. 担当教員

和 氣 晃 司 (救急医学), 菊 池 仁 (救急医学), 土 屋 翠 子 (救急医学),  
菱 沼 秀 一 (看護学部)

## IV. 学習内容

- ・座学：災害医療全般
- ・演習及び机上シミュレーション：トリアージ (START法, PAT法), 避難所運営ゲーム, 救護所運営

## V. 学修の到達目標

1. 我が国の災害医療について述べるができる (災害拠点病院, 広域医療搬送計画, DMAT, 広域災害医療情報システム)
2. CSCATTTについて説明できる
3. START法を用いてカテゴリーを決定できる
4. 避難所運営の流れについて説明できる
5. 救護所における医療活動について説明できる

## VI. 成績評価の方法・基準

- ・マークシート方式の客観試験
- ・START法実技試験
- ・レポート (感想文)

## VII. 教科書・参考図書・AV資料

参考資料

1. 改訂第2版DMAT標準テキスト (へるす出版)
2. これだけ! DMAT丸わかり超ガイド (中外医学社)

## VIII. 質問への対応方法

メールアドレス: wake@dokkyomed.ac.jp

事前に連絡いただければ、対面での質疑も可能 (日時や場所は適宜調整)

## IX. 求められる事前学習, 事後学習およびそれに必要な時間 \* ( ) 内は時間の目安

事前学習: 担当教員から指定された図書または動画を視聴すること (60分程度)

事後学習: 講義の内容をまとめておくこと (40分程度)

内容) 災害拠点病院, 広域医療搬送計画, DMAT, 広域災害医療情報システム, CSCATTT, START法

X. コアカリ記号・番号

A-7-1) 地域医療への貢献 学習目標：⑥

B-1-7) 地域医療・地域保健 学習目標：⑥

XI. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

- ・マークシート方式の客観試験：試験後に解説
- ・START法実技試験：その場でフィードバック実施

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	○
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	◎
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	○
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○

四  
学  
年